

1 ICTを活用した庁内業務効率化事業について

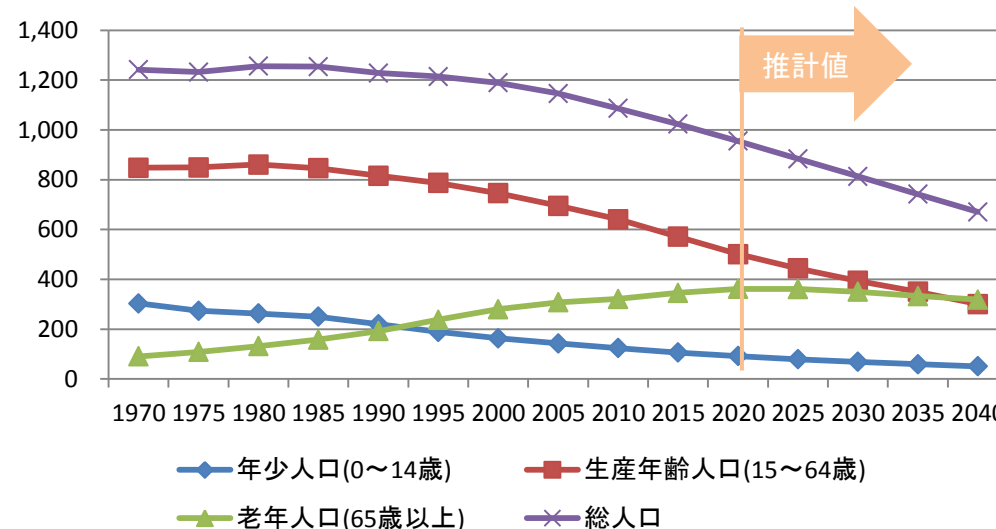
秋田県の状況

- 人口の減少
 - ・2040年には人口70万人を割り込む
 - ・生産年齢人口は総人口の5割を下回る
 - ・人口減少に伴い、県税や地方交付税が減少
- 就業者人口の縮小
 - ・2040年には、約50万人の就業者人口が約28万人まで減少
 - ・労働力需要(約39万人)に対し、約11万人不足
 - ・介護分野では、約2,800人の増員が必要
 - ・製造業の現場では、既に人不足が顕在化



県庁内においても、業務を効率化し、生産性向上を図る必要

秋田県の人口の推移



秋田県新行財政改革大綱(第3期)

新たなICT技術を活用した庁内業務効率化の推進を掲げ、AIによる問い合わせに対する自動回答やソフトウェア型ロボットによる業務の自動化等を平成33年度までに15業務で導入することを目標としている。

年度	H30	H31	H32	H33
効率化された業務件数	3	6	10	15

2 RPA(Robotic Process Automation)の導入

RPA(Robotic Process Automation)について

Windows端末から操作可能なあらゆるアプリケーション操作をシナリオとして学習し、パソコン操作を自動化する仕組み

- ①操作を記録し、シナリオ(作業フロー)として編集
- ②編集したシナリオ(作業フロー)を実行すればRPAが正確に再現

得意な業務

- ☐ 単純定型的な作業
- ☐ 反復・繰り返し(日次／週次／月次)作業
- ☐ 複数のシステムを跨ぐ業務

苦手な業務

- ☐ 判断を伴う業務
- ☐ インputが非定型な業務
- ☐ 音声アウトputを要する業務

これまで人がパソコン上で行っていた作業を自動化

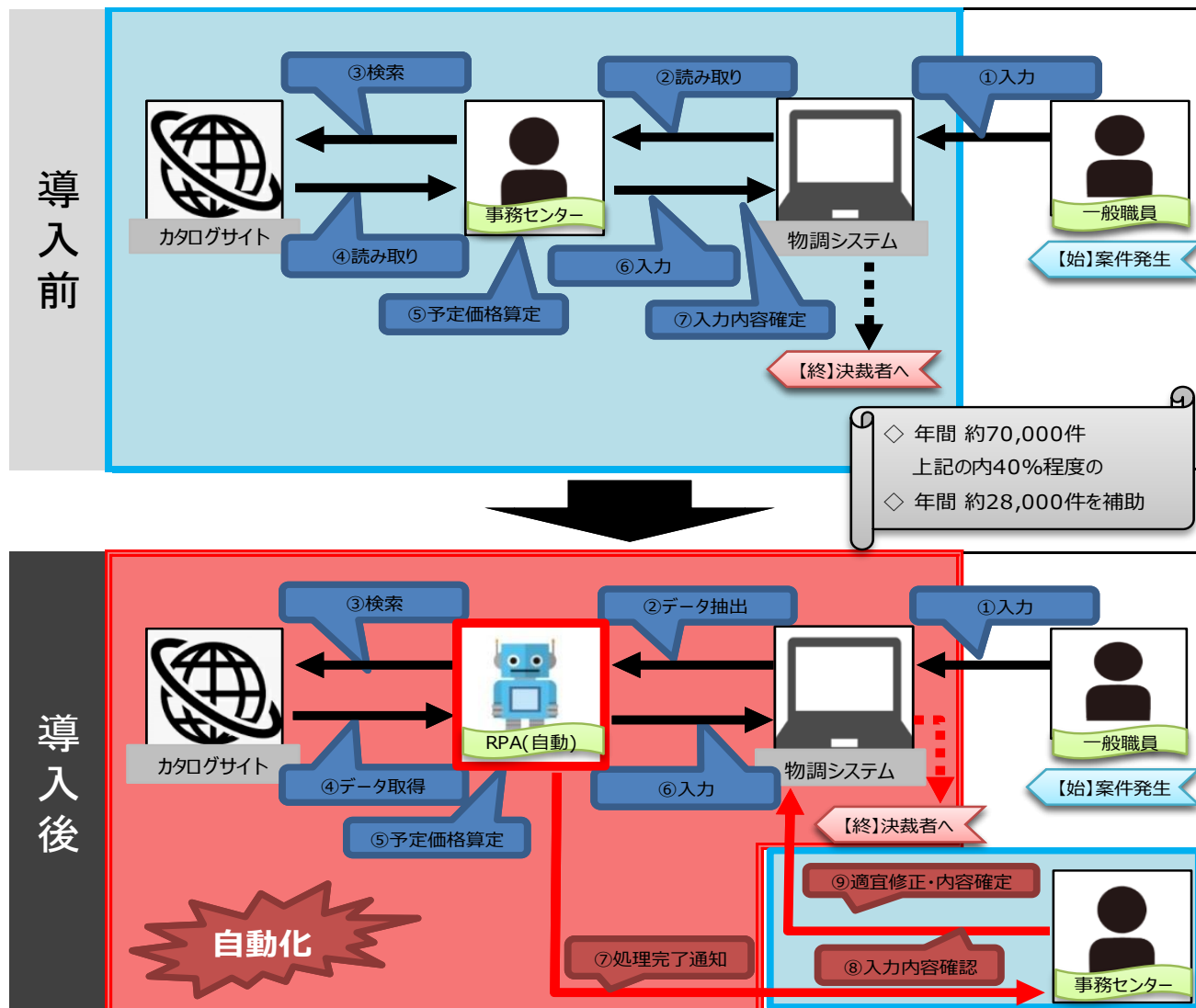
- ・データの入力やコピー
- ・メール送信
- ・Webサイトの検索、インターネットからの情報収集
- ・印刷



7つの導入メリット

- | | |
|--------------|--|
| ① 誰でも自動化 | 特別な知識がなくてもアプリケーションを使って簡単に作業を自動化できる |
| ② 24時間365日労働 | 自動化してしまえば、RPAが24時間365日作業可能 |
| ③ 業務の見える化 | 自動化の過程で業務フローができあがるため、業務改善に貢献する |
| ④ 業務の標準化 | 自動化したものを配付することで、振興局などでバラバラだった業務の標準化に貢献する |
| ⑤ 属人化の解消 | 自動化した業務は誰がやっても同じになるため、人についた仕事でなくなる |
| ⑥ 入力ミスゼロ | RPAは誤入力がない |
| ⑦ アイデア次第 | アイデア次第で無限の可能性を秘める (例えば高額なデータ移行費をゼロに) |

(1) 物品調達システム(予定価格算出業務)



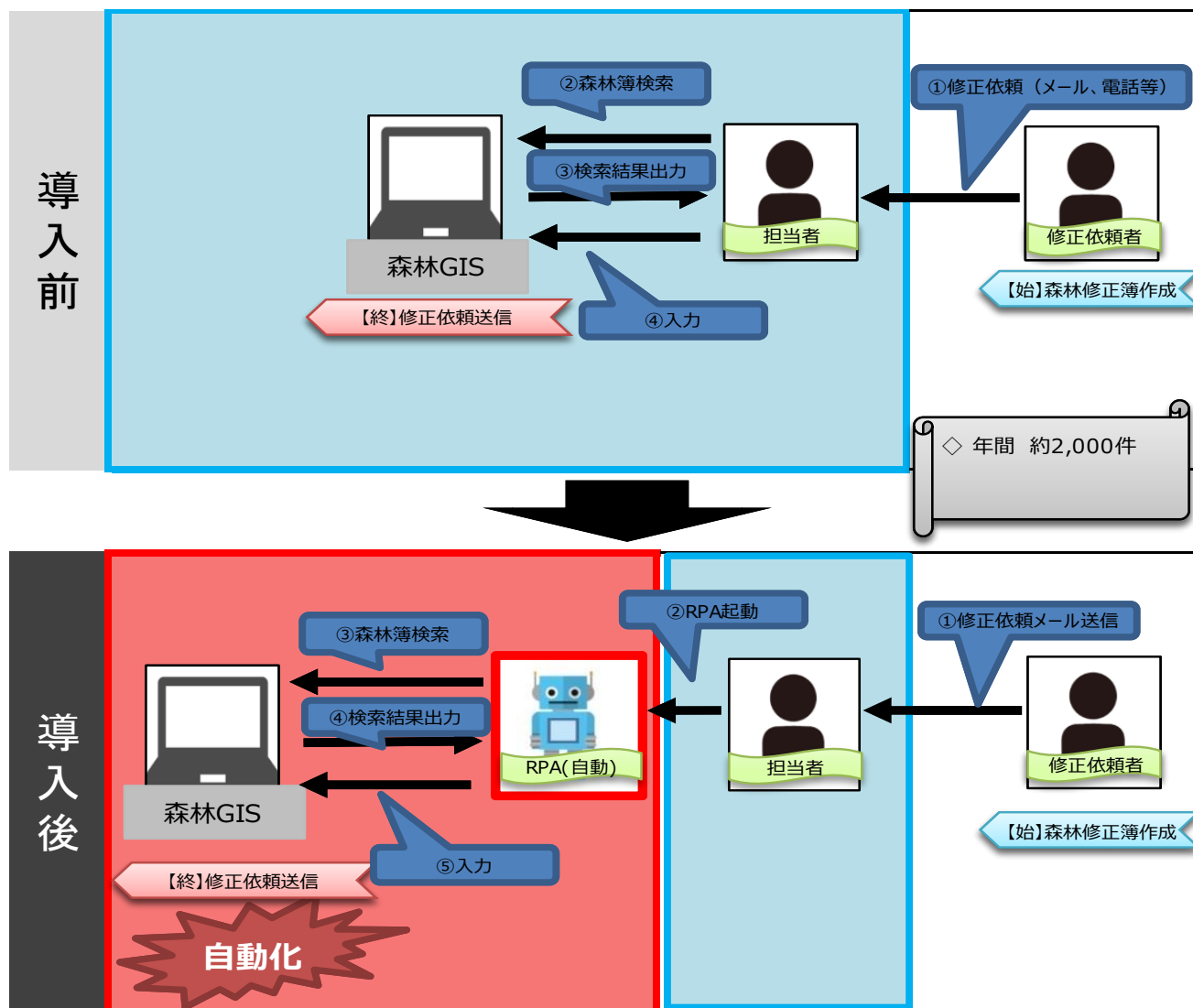
Before

・職員は物品の購入伺いについて、インターネットやカタログ等で仕様や価格等の確認及び審査を行う。

After

・上記処理をRPAが行い、その結果について職員が確認及び審査を行う。

(2)秋田県森林GIS（森林簿修正業務）



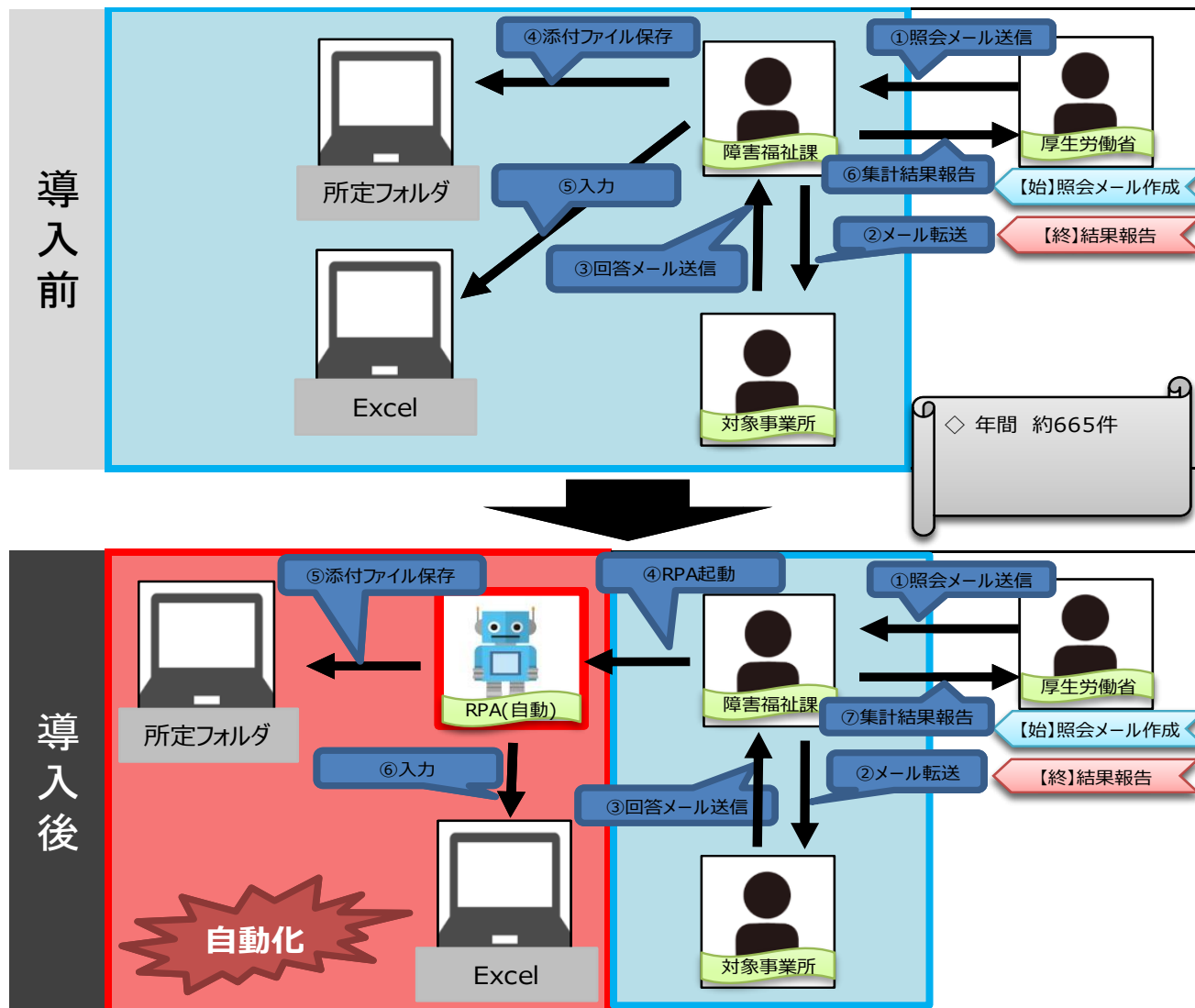
Before

・職員が森林簿修正依頼を受け、該当する森林を検索・修正する。

After

・職員は修正結果の確認及び承認のみ行う。

(3) 厚生労働省等調査業務



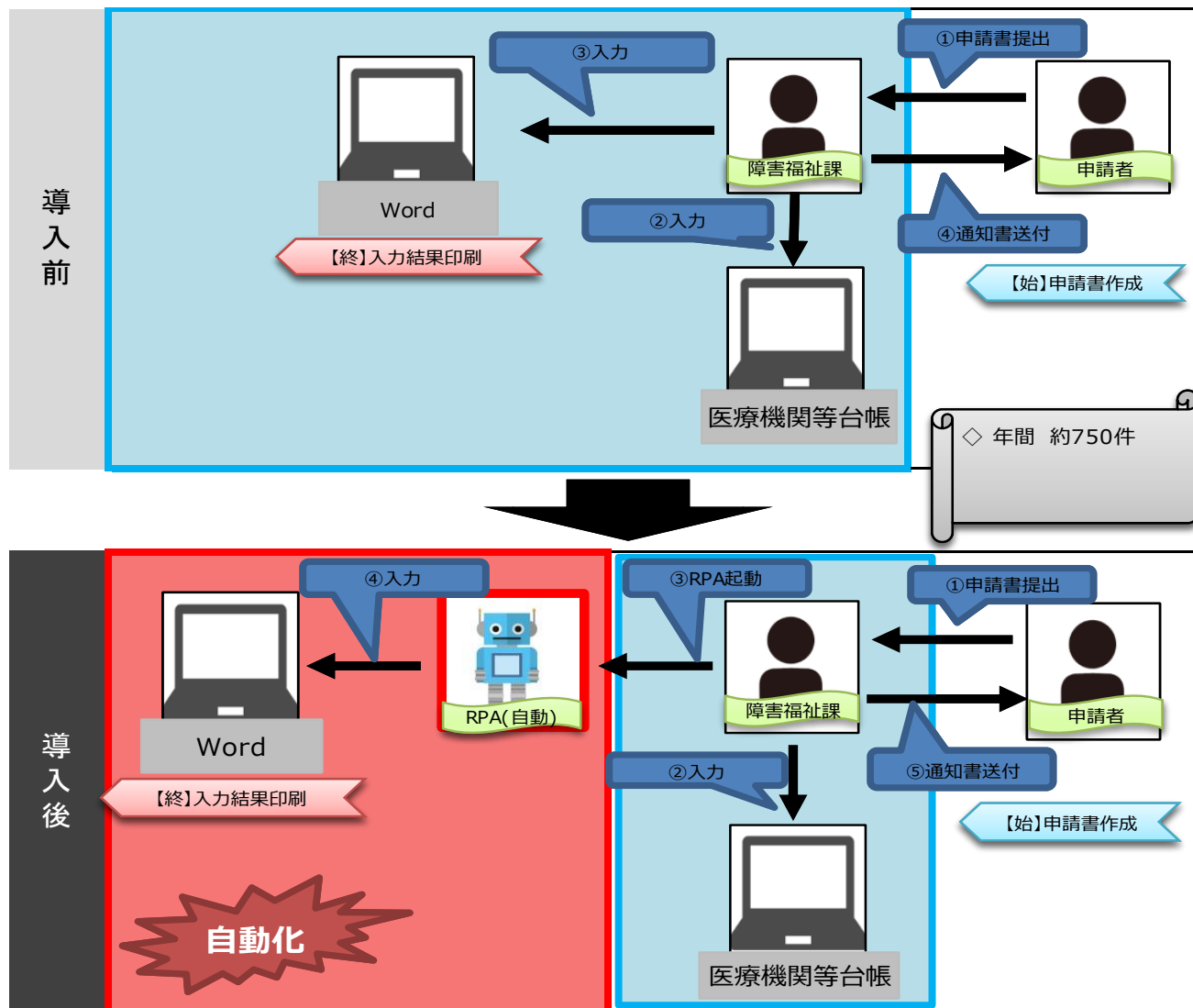
Before

・職員が照会メールを対象事業所に転送し、回答を所定のフォルダに保存するとともに結果をとりまとめる。回答がない場合は、リマインドメールを送信する。

After

・職員は対象事業所へのメール転送のみ行う。

(4)指定自立支援医療機関等管理業務



Before

・職員が紙の申請書を
收受し、台帳に入力す
る。内容を審査し、承認
通知を作成する。

After

・職員が申請書の收受、
台帳への入力、審査を
行う。承認通知の作成を
自動化する。

3 AI(人工知能)の導入

議事録自動作成支援

試験導入

会議・記者会見・講演会など

音声認識技術を活用し、録音された音声を自動でテキスト化
テキストの状態から書き起こしを始められるので、作業を軽減できる。



議事録作成・文字起こしの流れ



導入メリット

- ・人手で作業を行うのに比べて、約半分の時間で議事録を作成できる
- ・今まで議事録作成のために割いていた時間を他業務に割くことができる
- ・議事内容を一語一句正確に書き写す作業がなくなり、職員の負担を軽減できる
- ・情報公開のスピードアップを図ることができる

4 AI等の技術的研究

デジタルイノベーション推進コンソーシアム行政部会ワーキンググループ

データ収集、プログラミング等を行い、その結果を評価・検討し、実践適用の可能性を調査する。予算要求前の技術的な研究を対象とする。

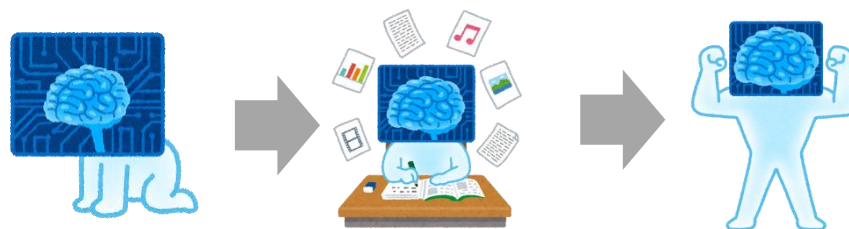
政策立案への活用

県民意識調査等について、AIを活用したテキストマイニングにより、政策立案の支援が可能か研究する。

研究内容

- 自由記述のアンケート結果をAIにより自動分類する。
- AIによる分類精度を向上させるために、学習させるデータについて研究した。

テキストマイニングとは・・・
大量のテキストデータから有益な情報を取り出すことの総称



問い合わせ対応支援

県民や庁内からの問合せに対して、回答候補を提示する、あるいは、自動で回答するなどの技術を研究する。

研究内容

- 情報企画課への問合せ内容をAIが分析し最適な回答をするシステムを検証し、課内で試用した。

